

かやたかゆきの ほうれんそう

愛川町議会議員

第5号

議会の報告

後援会の連絡

皆様からの相談

人口を増やして、町民サービスの向上を！

ついに愛川町の人口が4万人を切って39928人(R3 2月1日現在)となってしまいました。これは大きな問題であり、人口が減ることによる福祉や教育、医療などの住民サービスの低下を始め、何よりも大切な町の活性化が無くなってしまいます。よって、50年後100年後の子どもや孫の世代の為に、このタイミングで人口減少に歯止めを利かせ、未来に向けて生産年齢人口を増加させる施策を様々考え、一般質問として町に提言をしました！

企業を誘致して雇用を増やし、人口増加へ！

これから結婚や子育てをする世代である生産年齢人口を増加させるためには企業を誘致し、雇用を増やすことが一番の手法であると考えます。

「固定資産税を5年間無料」にする等の大膽で目玉となる企業誘致を行い、未来に向けた先行投資をする政策を作るよう提言しました。



SDGsパートナーやネーミングライツを！

企業を誘致するには、町の企業同士の強い繋がりが持ることも重要となってきます。

意識の高い企業同士が繋がれるSDGsパートナー制度を町独自で促進したり、文化会館等の施設を「あいかわ〇〇ホール」とネーミングライツで企業が名前を売り出しやすい環境を町が作り出しましょう！

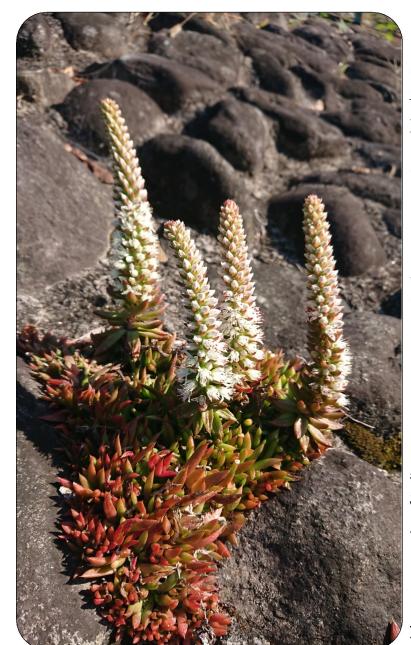
コロナ後のワーケーション環境を作ろう！

新しい生活様式による都会からの移住や移転を見据え、自然豊かな愛川町にテレワークやワーケーションの環境を作る事が必要です。

新しい時代の先を読み、様々な整備を進める必要があります。そのことで、関係人口の創出が出来て、移住へのきっかけを作れるように提言をしました。



八菅橋 令和の広場構想の最新情報！



愛川町に絶滅危惧種である「ツメレンゲ」という貴重な多肉植物が、八菅橋 令和の広場予定地付近に自生しています。ツメレンゲは神奈川でも自生地が3カ所しかなく、その1カ所が八菅橋 令和の広場付近に自生しているんです！10月末頃の秋になると白くて綺麗な花を咲かせます。この貴重な「ツメレンゲ」の保全活動にも力を入れて、ツメレンゲを後世に残していくために、日光が当たりやすくするために、草刈りなどの環境整備を行って参りました。

食の需要を増やして若手農業者を増やそう！

土壌の質が良い愛川町は農業に適しており、他とは差別化が図れるので、若手農家を誘致するには最高の条件にあります。よって、愛川町で作られた有機野菜を子ども達の親子式給食の食材として買い上げて、売上を担保する等の新規農業がしやすい環境を整備することが必要です。3月9日には試験的にニンジンが適用となりました。



フィルムコミュニケーションで町をPRしよう！

愛川町の知名度を上げるにはメディアへの露出が最も効果的です。露出を上げ、愛川町を観て親近感が沸き、移住先の対象になります。よって、企業や商店、団体などの町全体でメディア誘致に取り組める町独自のシステムを構築するように提言をしました。



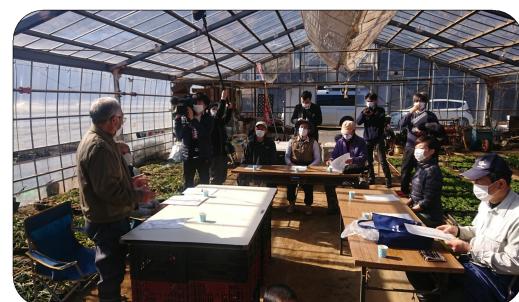
そして移住者☆佐助等のシティーセルス映像を観た人に、愛川町へ移住させるまで、上手に誘導ができる「移住までのワンストップサービスのシステム構築」を提言をしました。

半原ワサビの最新情報

半原ワサビまちづくりプロジェクトの設立総会へ！

ついに半原ワサビが動き始めました。若手農業者やまちづくりの有識者で「半原ワサビまちづくりプロジェクト」を結成し、1月27日に設立総会を行いました！そして、半原ワサビの株主である染矢氏とライセンス協定も行いました。

3月から原種の株分けに着手し、春から夏に向けて圃場の整備を行い、秋には半原ワサビの植え付けを行って参ります。



多くの報道関係にも興味を持って頂き、「NHK」「タウンニュース」「FMさがみ」さんに2月勉強会の風景を撮影して頂きました！



半原ワサビまちづくりプロジェクトは、日本のワサビの原種であり、半原地区で130年の歴史を持つ「半原ワサビ」の文化と歴史を守り、今後のまちづくりの武器としてシティーセルスに繋げるために、多くの協力者で2020年9月からスタートさせたプロジェクトです。

かやたかゆきの活動報告 11月～2月



青少年問題協議会に出席し、コロナ禍の青少年問題について、問題の共有や解決について話し合いました。



八菅橋令和の広場構想に向けて、役員さんと地元議員と意見交換を行い、協力して町に要望をします。



次男の成人式でした。青少年指導員などの有志で記念看板を作り、記念撮影を行いました。



二井坂区自治会の冬のパトロールに青少年指導員として参加した際のチェックを行いました。

半原ワサビプロジェクトに向けて唐揚げ fam☆famさんにワサビソースの開発をお願いしました。



財政分析研修に行きました。町の予算の上手な使い方、町の現状について詳しく学びました。

教育民生常任委員会にて予算が適正に使われたのかをチェックして来年の予算に反映させます。

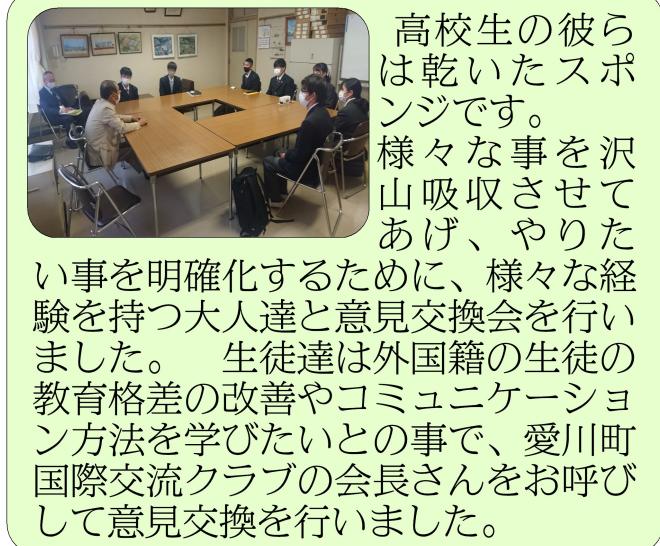


中津川の清掃活動をしている日本単独野営協会さんとゴミ問題を解決するために、美化プランで収集ゴミを処分できるようにしました。

※定期的な清掃活動の実施
日本単独野営協会では、野営地保護のための「清掃活動」を定期的に実施しています。ゴミの不法投棄や焚き火跡の放置が横行すると、野営地はすぐに使えなくなってしまいます。誰もが野営地をつまらぬ経験に清掃イベントを実施しています。

愛川高校生と愛川町を繋ぐまちづくりプロジェクト始動！

愛川町のまちづくりに興味がある愛川高校生や先生から依頼があり、愛川高校生と町を繋げるパイプ役として相談役という立場でお手伝いをさせて頂く事になりました。彼らの町に対する想いと熱々の情熱には圧倒されるパワーがあります。彼らが自分達のまちづくり理念で作り上げた事業は、かけがえのない「青春の宝物」になると思います！彼らに夢を描いてもらい、青春の宝物を作るお手伝いをさせて頂きます。



高校生の彼らは乾いたスポンジです。様々な事を沢山吸収させてあげ、やりたい事を明確化するために、様々な経験を持つ大人達と意見交換会を行いました。生徒達は外国籍の生徒の教育格差の改善やコミュニケーション方法を学びたいとの事で、愛川町国際交流クラブの会長さんをお呼びして意見交換を行いました。



今後の活動において、町民の皆さんと外国籍の方々とのコミュニケーションを取りやすくなる事業を展開したいと彼らは考えています。まずは、外国籍の生徒達とコミュニケーションが図れるイベントを生徒達が自ら考えて開催しました。



愛川高校の生徒には、外国籍の生徒が多く在籍します。しかし、外国籍の生徒と日本人の生徒には言葉の壁があり、コミュニケーションが取りづらい傾向です。彼らは、その壁をぶち破りたい！という取り組みで、外国籍の方が経営するお店にインタビューしました！

愛川町へ要望中～暮らしでお困りなことや要望がありましたら、何でもかやたかゆきにご相談ください～

愛川町での暮らしにお困りなことや要望がありましたら、何でもかやたかゆきにご相談ください！内容をお聞きして、町の担当課とかやたかゆきが話し合い、解決に向けて迅速・全力で取り組んで参ります！

現在の要望

- ①要介護1のケアマネージャーについて（茅へ相談）
65歳で要介護1認定となり、初めてのケアマネージャー探しのご相談を受け、3日後に見つかりました。
- ②児童館の補修・整備費の町負担額や負担率のアップ
児童館内のIT化に向けた取り組みを行いたいが、自治会でも使える予算が無いので、町として負担額や負担率のアップを行う要望をしました。

要望を茅までご連絡ください。携帯09036959357

発行日：2021年3月5日

第5号

討議資料

編集・発行：かやたかゆき後援会

連絡先：愛川町中津3552

090-3695-9357 Fax 046-286-7872 Mail takayuki@8744.co.jp

新会派結成のご報告

令和2年11月30日より、新しい会派「令和あいかわ」を発足する事となりました。それに伴い、所属委員会の変更がありました。

- ・教育民生常任委員会
- ・議会運営委員会（新任）
- ・議会改革推進特別委員会
- ・広報広聴常任委員会



4つの委員会に所属し、山の事が学べるチャンスを頂く事が出来ました。

編集後記

まだまだコロナ禍が続き、多くの町民の皆さんが大変な日々をお過ごしだと思います。政治活動に関しても色々と制限が出ていますが、コロナ後の新しい町民生活を見据え、しっかりと準備と勉強をする時期にしたいと思います。

これからも愛川町の素晴らしい未来の為に「夢」を描き、それを実現するために活動する議員でありたいと思います。

次号の新聞折込は6月4日金曜日を予定しています